

南九州・沖縄ブロック  
在宅医療連携拠点事業報告会



# 連携を支える 玉名のい・き・か・た

玉名郡市医師会  
玉名地域保健医療センター



一般社団法人玉名郡市医師会立

玉名地域保健医療センター

私たち医療センターは、地域医療の発展に貢献していきます。1

# 玉名郡市のご紹介



人口:約11万人  
高齢化率:約36%~26%  
要介護認定率:20%~25%  
※日本全体の10年先を  
走っています?



- ☆ 圏域内でも在宅医療を巡る環境に大きな違いがある。
- ☆ 圏域でも診療所数や施設の数に隔たりがあり、住民も生活圏域が違う
- ☆ 訪問診療や訪問看護は他地域と比べ充実している

## 顔が見える関係

顔がわかる  
関係

顔の向こう側が  
見える関係

信頼できる関係

+

学び合える関係

共感し合える関係

# 連携を支える

い

言っていていい

き

聞いていい

か

かたっていていい

(九州弁で仲間に入るという意)

た

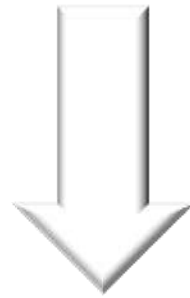
玉名の連携



**いきかた**

という

関係から産まれたもの



**現場のための  
「アクション」**

# たまな在宅ネットワーク

双方向・参加型の「場」

NPOや任意団体との協働

★ **強化型在支診・在支病（ネットワーク型）**

★ **自主的な組織である**

★ **在宅多職種ネットワーク**

在支診・在支病のネットワークにとどまらない

医師・訪問看護・病院看護・PT・OT・ST・訪問薬剤師

病院薬剤師・MSW・ケアマネージャー・介護福祉士

ホームヘルパー・社会福祉士

（今後は歯科医師・歯科衛生士・管理栄養士も）

★ **参加の敷居を低くしている**

### ★ 学び合う「場」である

ケースカンファレンスの他に、勉強会も。

### ★ 飲みニュケーション有り

月例カンファレンスのあとは「かわせみ」へ

### ★ ローテクでローコストIT化

患者情報の共有化はローテクな方法で

(既存の書類をFAXしてもらい、入力の二度手間が不要。高いITリテラシーは必要ない)



- ・多職種連携にICTは有効。

しかし、ハイテク過ぎると  
2度書き、費用、ITリテラシー

⇒敷居が高い

# たまな在宅ネットワーク

双方向・参加型の「場」

NPOや任意団体との協働

# ・一方通行のプログラム

満足感は得られても

「現場」には

つながらないかもしれない

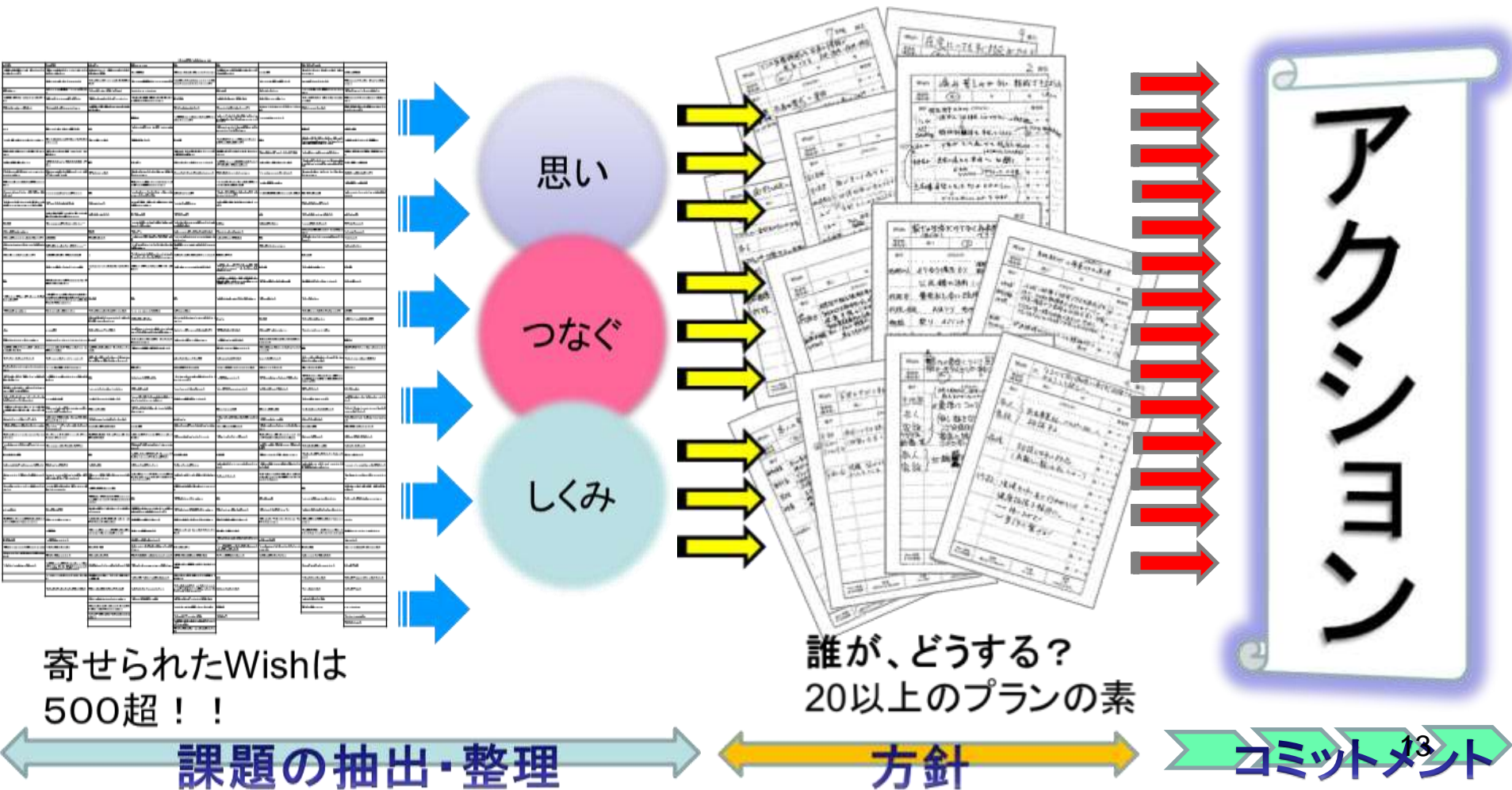
- ・ 高揚感は得られたが、  
「現場」につながらない・・・

# 課題抽出から「アクション」の場へ

## 「たまな在宅医療・療養を考えるWish Poem」

《参加者》

医師・歯科医師・薬剤師・訪問看護・中核病院連携室・MSW・ケアマネ  
セラピスト・施設関係・障害関係・管理栄養士・救急救命士・行政 他 70数名



たまな在宅ネットワーク

双方向・参加型の「場」

NPOや任意団体との協働

・あると便利？

(マップ・情報共有シートなど)

でも

内容と活用が実用的か  
と問われると・・・

「現場」で使ってもらえない

玉名では、

すぐに「現場」で活かせる  
人材育成

に着目！



# 在宅医療のシンクタンクとして

「い・き・か・た」  
という関係の場



たまな  
在宅医療  
連携協議会

いきててよかった  
住んでいてよかった  
たまなの実現

住民  
行政  
団体

発信  
・  
啓発

アクション

在宅医療の  
「現場」充実

## これからも

- ① 「い・き・か・た」という  
関係を大切にしていきます
- ② 「現場」のために  
「アクション」を起こしていきます